校長室雑記

笑ってごらん

第 621 号　H. 30. 4. 26 発行

～今日の格言～
百尺竿頭進一歩　《禅語》
（どんなことを築き上げてもさらに先があるから、
また一歩前に進みなさい）

テレビを観ていたら『引き算の美学』という言葉に惹かれた。その番組は和食についての内容であったが、「余計なものを削ぎ落とした素材の味を楽しんでいただきたい」という料理人のコメントがあった。これを聴いて思い起こしたことがある。かつて京都のお寺を訪れた折、美しい庭を眺めていると、まるで時が止まったかのような感覚に陥り、大変穏やかな豊かな気持ちになった。

お寺は本来、観光の場ではなく心の修行の場である。特に禅寺においては、もともと自然豊かな場所でひとり静かに坐禅することを最高の時間としているという。ただ、大自然を小さなスペースに持ち込むことはできないので、象徴的なものにするしかない。要素を削ぎ落としていくと、それ以上削ぎ落とせないものだけが残り本当の価値が輝く。目に美しい庭の誕生。足すのは容易だが引くのはなかなかできない。

私たちの日常生活でも同じ。例えばファッション。流行を追っているとすぐに服は増える。本当に満足できるものだけ買えば、流行が去っても、他のものとの組み合わせで甦らせることができる。それは満足に基づくものゆえ輝いている。それが「削ぎ落とす＝引き算の美学」に通ずる。

30 日、看護学科基礎課程 2 年生の戴帽式が行われる。現在、戴帽式実行委員 20 名がリーダーシップを発揮し、準備・練習に余念がないところである。戴帽式を終え、5 月 28 日からは臨地実習が始まる。是非とも素晴らしい学びを得られる実習にして欲しい。私事ではあるが、遠い昔、大学生の頃、教育実習のため母校に赴いた。経験したことのない緊張に包まれ、実際に授業をした後は･････、背中が汗でびっしょりだった。

校内における友人相手の校内演習とは異なり、病院で実際に入院されている患者様に対峙するとなると嫌でも緊張は高まるもの。ただ、緊張の中で得ることが出来た情報は自分の成長にとって貴重な存在となることは間違いない。私も実習で教えること・伝えることの難しさを体感した。経験できることは有り難い。

～・～・～・～・～・～・～・～・～・～・～・～・～・～・～・～・～・～・

昨日先生方から話があったことと思うが、現在、沖縄県において「はしか流行」と報じられている。この「はしか」、海外から持ち込まれたものらしいが、非常に感染力が強い。接触感染・飛沫感染のみならず空気感染もある。普通の風邪とは異なり、マスク着用などでは防ぎきれない。対処法は予防接種のみ。今週末から大型連休。「人の移動」によって感染が拡がらなければよいのだが･･･。

寮生にとってこの連休は地元に帰省できる貴重な機会ゆえ心待ちにしていることだろう。有意義な連休にして欲しいが、こんな歓迎できない状況があることを忘れずに！　風邪症状が出たら、移動を止め、即受診！

大型連休中には多くの部活動で合宿や遠征・大会出場などの計画がなされている。日頃はなかなか取り組むことのできない練習にも思い切って挑戦できるチャンスである。

5 月末からは県大会が始まる。事故や怪我の無いよう留意し、精一杯実力アップに勤しんで欲しい。